

## レポートの作成について

### 1. はじめに

レポートは、人に読んでもらうためのものです。したがって、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず「読む人」がいます。レポートの評価を行うのは、「読む人」です。書き手が評価を行うものではありません。

まず、第一に、「読む人」に理解してもらえるように、わかってもらえるように、書くことを心がけましょう。

講義や実験のレポートでは、提出先の教員がある程度事情を把握しているので、問題とはなりません。説明不足のレポートになりがちです。例えば、実験などの「方法」は、それを読んで、他の人が同じように測定を行うことができますか？第三者が追試できますか？必要以上に細かく書く必要はありません。実験のレポートは、基本的には、他人がそのレポートのみを読んで、同じような実験を行うことができるように書いてください。自分だけがわかっているのでは、よいレポートとは言えません。

### 2. 体裁について

今回のような実験系のレポートでは、例えば、

1. はじめに
2. 実験の方法
3. 実験の結果
4. 考察
- (5. 感想)

のように、章立てをしたり、小見出しをつけたり、階層構造になるように項目を立てると読みやすくなります。

なお、一般的な研究論文では感想は書きませんが、この実験のレポートの場合は、感想も書いてください。

ただし、考察と感想は、分けて書いてください。考察は、結果を受けて（結果をもとに、結果から）、どのように合理的に判断できるか？筋道を立ててどのように考えられるか？自分なりにはこう考えられる、ということを書くものです。一方、感想は、自分が感じたことを書くものですから、結果とは必ずしも関係なくてもいいわけです。

- 1) レポートのどこかに、ページ番号を記入してください。もしも、レポートがバラバラになっても、順番がわかるようにしてください。
- 2) 「 $\mu$  (ミュー)」などのギリシア文字は読みも難しく面倒ですが、多くの場合、Microsoft Wordなどのワープロソフト上の日本語入力の「文字パレット」などの「ギリシア文字」から入力できますので、きちんと入力してください。
- 3) フォントを上手に使ってあげてください。例えば、「ゴシック体」と「明朝体」を使い分けるだけでも、かなり見やすくなります。
- 4) ワープロを使う場合は、変換ミスがよくみられます。例えば、「以外に面白かった」などのように（正しくは、「意外に面白かった」です）。レポートが完成したら、もう一度、自分で読み返してみましよう。

### 3. 内容について

- 1) レポートを作成した際に使った計算式や語句の説明なども入れてください。ただし、必要以上に細かく書く必要はありません。
- 2) 数字で出てくるデータでは、「54」と「54.0」は、意味が違います。「54」は一の位まで読みとった結果であるのに対し、「54.0」は小数点一桁まで読みとった結果です。機器の精度の問題でもありますので、注意しましょう。また、単位は、きちんと書き込んでください。
- 3) 判断の基準となった図表などの出典（どの本の何ページに載っている図表か？どのホームページのどの欄に載っている図表か？など）を明記してください。どこの何を見て、そのように判断したのか？を、明示してください。同様に、結果の評価に用いた基準値についてもレポートの中に、書き込んでください。今回のような実験の場合は、採点する教員がわかっている場合が多いですが、一般的にはわかりません。なお、その際、授業で配付される配付資料を出典にしないでください。
- 4) 基準に照らし合わせて、基準値よりも「小さい」と「良い」のでしょうか？それとも「悪い」のでしょうか？例えば、25℃の環境は、冬季では「暖かい」環境ですが、夏季では「涼しい」環境になります。
- 5) 「別紙を参照」、「下記に示す」などと書いてあるのに、それらが見あたらないレポートも例年よく見受けられます。きちんと入れておきましょう。また、「別紙」や「下記」がどれを指すのか、わかりにくい場合もあります。わかりやすいように心がけてください。
- 6) 一文が長く、また句読点の位置がおかしいために、非常に読みにくいレポートがみられます。レポートが完成したら、もう一度、自分で読み返してみましよう。すんなりと読めるかどうかを確認してください。自分でもわからない場合は、他人にはわかるはずはありません。
- 7) ワープロで書く場合は、ほとんど同じような考察を書くと、人のものを写した（さらに言え

ば、コピーした)とも取られかねません。十分注意しましょう。

#### 4. レポートを書く順番について

- 1) まず、グラフ、図、表などの「素材」をつくりましょう。
  - 2) それを別ウィンドウで開きながら、もしくはプリントアウトして手元に置きながら、まずは文章だけを書きましょう。
  - 3) 最後に、文章の間にグラフや図表を貼り込み、レイアウトを整えましょう。
- Microsoft Word ファイルに、グラフや図表を貼り込みながら文章を書くと頭が混乱するので、まず、文書を仕上げるのが大切です。

#### 5. グラフや図表の作成について

- 1) グラフを作る前に、まず、以下のような作業を行きましょう。
  - ・測定ノートを、デジタル化 (Microsoft Excel に入力) し、「生」データのファイルを作る。
  - ・生データのファイルとは別に、グラフを作成するための専用のファイルを作る (データがなくならないように)。
  - ・新しいシートを作る (グラフを作るためのシート)。
  - ・生データのシートを使って、グラフを作るための表を作る (ここが肝心)。


- ・どんなグラフを作るのか? を考えながら、表を作る。
  - ・生データのシートから直接グラフは作らない。グラフ専用のシートを別に作る。
  - ・最後に、グラフを作って、書式を整える。
- ※考察は、上で作ったグラフを出力して並べて、比べてみることから!
- 2) 図表には、きちんとタイトル、単位、凡例を入れましょう。
    - ・図の場合: 図の下側に「図1 ~」などのようなタイトルを入れる。
    - ・表の場合: 表の上側に「表1 ~」などのようなタイトルを入れる。
  - 3) グラフや表を作成する際には、できるだけ見やすくなるように工夫しましょう。
    - ・Microsoft Excel のデフォルトのままのグラフでは見にくい。
    - ・グラフの線の太さや色などを自分で調整する。
    - ・グラフや表の作り方がわからない場合は、Microsoft Excel のヘルプ機能で調べる。

- ・もしくは、自分で本を買ってくる（4年生になって研究室に配属されれば使います）。
- 4) どのように図表を見ればよいのか、どのように何を読み取ればよいのか、についても最低限でよいですから、説明を加えましょう。
- 5) 平面図などを載せる場合は、縮尺もしくは寸法、方位などを入れましょう。

## 6. 参考となる文献

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館

(<https://wwwlib.pu-kumamoto.ac.jp/drupal/>) の『通常検索』欄で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

→図書館の1階の展示コーナーである「就活・レポート作成・大学生活応援コーナー」の一部に「レポート入門編」と「レポート・卒論」の棚があります。是非参考にしてください。

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

【入門編-学生生活の基本と共に】(順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、価格、ISBN番号、熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報〔〕内)。以下同様。)

- 1) 『スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための25のスキル[改訂版]』(吉原恵子・間渕泰直・富江英俊・小針誠, 実教出版, 2017年9月, 1,200円+税, ISBN:978-4-407-34061-7)  
〔就活・レポート(1F), 377.15||Y 87, 0000379748〕  
→初版(2011年発行)は〔和書(2F), 377.15||Y 87, 0000342518〕
- 2) 『レポート論文のStart Line 書ける自分を作る』(居駒永幸・畑中基紀・岡崎直也・斎藤静隆・永野宏志編, おうふう(出版社は廃業), 2012年10月, 1,500円+税, ISBN:978-4-273-03706-2)〔就活・レポート(1F), 816.5||I 37, 0000371521〕
- 3) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 第5版』(学習技術研究会編著, くろしお出版, 2019年4月, 1,800円+税, ISBN:978-4-87424-789-1)〔就活・レポート(1F), 377.15||G 16, 0000383251〕  
→第4版は(2015年発行)は〔和書(2F), 377.15||G 16, 0000375698〕  
→第3版は(2011年発行)は〔和書(2F), 377.15||G 16, 0000350312〕  
→改訂版第4刷(2008年発行)は〔和書(2F), 377.15||G 16, 0000327677〕  
→改訂版(2006年発行)は〔和書(2F), 377.15||G 16, 0000311457〕  
→初版(2002年発行)は〔和書(2F), 377.15||G 16, 0000261688〕〔書庫(4F), 377.15||G

16, 0000261864]

- 4) 『**広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン**』(北尾謙治ほか, ひつじ書房, 2005年5月, 1,600円+税, ISBN:4-89476-242-0) [和書(2F), 377.15||Ki 71, 0000293704]
- 5) 『**大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第2版**』(松本茂・河野哲也, 玉川大学出版部, 2015年3月, 1,500円+税, ISBN:978-4-472-40513-6) [シラバス文学(3F), 002.7||Ma 81, 0000366076]  
→初版(2007年発行)は [和書(2F), 002.7||Ma 81, 0000309779]
- 6) 『**情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター**』(中澤務・森貴史・本村康哲編, くろしお出版, 2007年4月, 1,800円+税, ISBN:4-87424-372-5) [和書(2F), 377.15||N 46, 0000309780]
- 7) 『**理系学部合格したら読む本**』(井手弘人・内藤克浩・根本泰雄, 化学同人, 2007年5月, 1,200円+税, ISBN:978-4-7598-1097-4) [和書(2F), 377.9||I 19, 0000309778] [書庫(4F), 377.9||I 19, 0000306485]

#### 【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 8) 『**講談社現代新書 2498 最新版 大学生のためのレポート・論文術**』(小笠原喜康, 講談社, 2018年10月, 800円+税, ISBN:978-4-06-513502-0) [就活・レポート(1F), 080||49||2498, 0000381010]  
⇒マンガ版もあり(『マンガでわかる大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康・近藤たかし, 講談社, 2020年9月, 1,400円+税, ISBN:978-4-06-520659-1)) [就活・レポート(1F), 816.5||0 22, 0000390227]  
→新版(講談社現代新書2021, 2009年発行)は [書庫(4F), 080||49||2021, 0000374791]  
→初版(講談社現代新書1603, 2002年発行)は [書庫(4F), 080||49||1603, 0000259322]
- 9) 『**レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション**』(石坂春秋, くろしお出版, 2003年3月, 1,400円+税, ISBN:4-87424-273-1) [和書(3F), 816.5, 9000006625]
- 10) 『**Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ**』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, 1,600円+税, ISBN:4-7503-1983-X) [就活・レポート(1F), 816.5||Sa 69, 0000290926]
- 11) 『**レポート・論文の書き方入門 [第4版]**』((河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2018年7月, 1,000円+税, ISBN:4-7664-2527-7) [就活・レポート(1F), 816.5||Ko 76, 0000380975]  
→第3版(2002年発行)は [書庫(4F), 816.5||Ko 76, 0000285910]  
→改訂版(1998年発行)は [書庫(4F), 816.5||Ko 76, 0000252694]  
→初版(1997年発行)は [書庫(4F), 816.5, 9000002010]

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

- 12) 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』(山内志朗, 平凡社, 2001年9月, 700円+税, ISBN: 4-582-85103-7) [書庫(4F), 080||H 51||103, 0000270456]
- 13) 『NHK ブックス 1194 新版 論文の教室 レポートから卒論まで』(戸田山和久, NHK出版, 2012年8月, 1,200円+税, ISBN: 978-4-14-091194-5) [和書(3F), 816.5||To 17, 0000352921]  
→初版(NHK ブックス 954, 2002年発行)は [書庫(4F), 816.5||To 17, 0000276644]
- 14) 『大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方 第2版』(吉田健正, ナカニシヤ出版, 2004年4月, 1,500円+税, ISBN: 4-88848-868-1) [就活・レポート(1F), 816.5||Y 86, 0000312379]  
→初版(1997年発行)は [和書(3F), 816.5||Y 86, 0000263004]
- 15) 『これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版』(酒井聡樹, 共立出版, 2017年7月, 1,800円+税, ISBN: 978-4-320-00598-3) [就活・レポート(1F), 816.5||Sa 29, 0000376640]  
→初版(2007年発行)は [書庫(4F), 816.5||Sa 29, 0000309758]
- 16) 『建築系学生のための卒業論文の書き方』(山口廣・笠井芳夫・浅野平八, 井上書院, 2008年4月, 1,800円+税, ISBN: 978-4-7530-1056-1) [和書(2F), 520.7||Y 24, 0000317372]
- 17) 『論文はデザインだ!』(渡邊研司, 彰国社, 2008年5月, 1,905円+税, ISBN: 978-4-395-24107-1) [和書(2F), 520.7||W 46, 0000317373] [書庫(4F), 520.7||W 46, 0000314903]

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、今後、4年生になって研究室に配属された際にも必要になるでしょうから、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。

その他にも、いろいろな本がありますので、大学の売店(丸善)や下記の本屋などで探してみてください。

- 1) 紀伊國屋書店 熊本光の森店 (営業時間: 10:00~22:00, 年中無休)  
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森 7-33-1 ゆめタウン光の森内 2F  
電話: 096-233-1700 FAX: 096-233-1701  
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hikari-no-Mori-Store/>
- 2) 紀伊國屋書店 熊本はません店 (営業時間: 10:00~21:00, 年中無休)  
〒862-0965 熊本市南区田井島 1-2-1 ゆめタウンはません 3F  
電話: 096-377-1330 FAX: 096-377-1339  
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hamasen-Store/>
- 3) 蔦屋書店 熊本三年坂 (営業時間: 10:00~夜 21:00, 元日店休)

〒860-0801 熊本市中央区安政町1-2

電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890

<https://store-tsutaya.tsite.jp/storelocator/detail/8000.html>

- 4) 熊本大学生協の学生会館ショップ書籍・雑誌コーナー（営業時間：8:10～19:00（土日祝休み））

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1

電話：096-343-6321 FAX：096-345-8239

<http://kyushu.seikyou.ne.jp/kumamoto-u/>

→生活協同組合熊本インターカレッジコープアカデミアも参照（本学の学生でも加入が可）

→→<http://kyushu.seikyou.ne.jp/in-km/>

また、下記のホームページなどが参考になるかもしれません。その他に、自分でも、「レポート」、「書き方」などのキーワードで検索してみてください。大量に検索できるはずです。

- ・法政大学図書館 > 調べる・探す > お役立ちサポート > レポート・論文を書くには

<https://www.hosei.ac.jp/library/kensaku/support/report/>

- ・立教大学図書館 > 学修支援 > 利用ガイド > レポート作成ガイド

<http://library.rikkyo.ac.jp/learning/reportguide/>

- ・近畿大学中央図書館 > 検索・調べる > 学修レポート

[https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study\\_support.html](https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html)

- ・岐阜大学 森林生態学研究室 > 大学生のための情報リテラシー（pdf ファイルで試読が可）

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>

- ・津田塾大学 > ライティングセンター > 「レポートの書き方」PDF版をご利用ください。」

<https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html>

注) これらのサイトの内容については、自分の責任で確認してください。辻原自身が全ての内容を確認したわけではありません。